

# 周囲の人の「気付き」から始まる 子どもの安全

— 見すごすな幼い子どもの SOS —

子どもの健全な成長に悪影響を及ぼすばかりでなく、時として子どもの大切な命を奪うことすらある児童虐待。それは子どもにとって一番身近な「家庭」で発生しています。

虐待から子どもを守るために必要なのは、周囲の人たちが、虐待にいち早く気付き、救いの手を差し伸べることに。そして何よりも、虐待を未然に防ぐための子育て家庭へのサポートが重要です。

法律では、虐待を発見したり虐待を疑った人は、市町村や児童相談所に通告しなければなら

ないことになっています。通告という難しく感じるかもしれませんが、「心配な状況に気付いたときに、市役所などに連絡・相談して、子どもの安全を確認してもらおう」と「だ」と考えてください。

通告した人の名前などが外部に漏れることは絶対にありませんので、ご安心ください。



## 児童虐待とは

身体的虐待：殴る・蹴る・投げ落とすなど、体に外傷を与え、生命に危険を及ぼす暴力

心理的虐待：言葉による脅し・無視・脅迫・兄弟間の差別的な扱いなど

性的虐待：子どもにわいせつな行為をすること、させること、見せることなど

ネグレクト：食事を与えない、入浴させない、養育の拒否・怠慢・放置など

## 相談窓口

千葉県中央児童相談所

☎043・253・4101、  
土・日曜日・祝日 午前9時～午後5時

千葉県子ども家庭110番(千葉県中央児童相談所内)

☎043・252・1152、月

(金曜日 午前9時～午後8時) 通告は24時間対応

子ども110番(市子育て支援課内)

☎23・5110、月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

家庭児童相談室(市子育て支援課内)

☎20・1538、月～金曜日 午前9時～午後4時

## 一人で悩まないで

子育てに悩みや迷いはつきものです。少々のことでも、経験がないと悩んでしまいます。

核家族や、転入したばかりで親類や知人がそばにいない場合は、一人で悩まずに、市などで実施している保育サービスや、子育てサークルを利用してみませんか。

## 保育サービス

病児・病後児保育(小学校低学年まで)

なのはなクリニック病児保育室  
ゼフィルスで、病児・病後児の保育を実施しています。

☎73・8110  
子ども館

1階を「ふれあいひろば」として小中高校生に開放しています。

☎20・6300、月曜日・第3日曜日・祝日は休館

なかよしひろば(就学前)

子育てに関する質問や悩みについて、親同士がお互いに情報交換できる親子の交流の場です。保育士と看護師が見守る中、子どもも安心して遊ぶことができます。

子ども館2階と三里塚コミュニティセンター(☎40・4880)1階を開放して実施しています。月曜日・祝日は休館。

子育てひろば(小学校低学年まで)

子育てサポートによる子育ての相談や親子の交流の場です。土曜日の午前中、子ども館・中央公民館で実施。

## 子育てサークル

育児サークル(中央公民館)  
内容や日程などは同館(☎27・5911)へ。

遠山ミルキーキッズ(三里塚御料共同利用施設)

地区保健推進員による子育ての相談や親子の交流の場です。  
すこやかサークル(保健福祉館大栄分館)

下総ちびっこ広場(下総公民館)  
久住ちびっこ広場(久住公民館)  
※くわしくは子育て支援課(☎20・1538)へ。「育児サークル」以外の子育てサークルについてくわしくは健康増進課(☎27・1111)へ。

☎27・1111)へ。